



羅針盤

社会科部 情報活用委員会

社会に開かれた社会科研究作品展

福岡中学校 校長 山内 貴弘

今年も、市立図書館「りぶら」にて社会科研究作品展が開催された。平成21年度から社会科部の主催で行われているこの研究作品展は、3000点以上の市内小中学生の作品の中から選ばれたおよそ150点の優秀作品が展示されている。ちなみに、例年行われている理科作品展の展示作品数は200点をゆうに超え、技術・家庭科作品展の展示作品数に至っては、1000点を超えるという。こうしたことから社会科作品展は、身近で手作り感のある作品展として、これまで社会科部の先生方の尽力により大切に運営されてきた。

本年度は、社会科主任会の研修講座の中で「研究作品作りの指導」というテーマのもと、優秀作品の良さや指導の在り方について研修の機会を設けた。その中で、優秀作品は授業を通して抱いた疑問や問いをもとに探究を行っていたり、学習内容をさらに発展させて、地域というフィールドで調査研究したりしていることが多いという報告があった。これは、新学習指導要領で重視されている「学びをどう生かすか」という点で大変に価値があるといつてよい。防災学習を地域で展開した作品では、外国人居住者が多いという実態から多文化共生というキーワードを導き出した。さらに探究の過程では、「社会的な見方・考え方」を総動員したことがよくわかる作品が数多く見られた。岡崎空襲の実態について、聞き取り調査をもとに研究した作品では、戦争の経過や諸外国との因果関係をもとに聞き取った情報を丁寧に考察していた。「見方・考え方」は新学習指導要領のキーワードでもあるが、授業の場において、時に「見方・考え方」が「身に付けさせる資質能力」と重なって構想されており、目標化している実践がある。そういった点で子供たちの作品は、自分なりの磨かれた見方考え方が総動員されており、この時点ですでに深い学びなのである。私たちは、こういった子供の論理を信じ、さらに「授業に生かす」努力をしていく必要があると改めて思う。

最後に、この作品展は毎年「りぶら」で開催され、訪れた多くの市民の方々が足を止め、子供の研究作品に温かいまなざしを注いでいただいている。こうした社会に開かれた作品展が今後も続いていくことを願っている。

「社会科研究作品展」報告

学年	テーマ	氏名	学校名
小3	どうすれば奈良井公園のごみがへるか?	川本すみれ	三島小
小3	御朱印と寺社めぐり	青山 結衣	三島小
小5	なぜ、六ツ美中部学区は「米作り」が盛んなのか?	山本 鳳介	六ツ美中部小
小6	せまりくる南海トラフ大地震PartⅣ -多文化共生の防災とは-	手島奏太郎	三島小
中1	忘れないで岡崎空襲 ~その時何が起きていたか~	黒柳美紀子	六ツ美北中

岡崎市内の小中学校で合わせて3,280点の応募の中から、146点の作品が「りぶら」に展示されました。どの作品も、疑問に思ったことから、現地に調査へ出かけて調べるなど、すばらしい研究でした。その中から、優秀作品に選ばれたのが、左記の5名の作品です。詳しくは社会科部のホームページをご覧ください。

「授業力・教師力アップセミナー基礎編」報告

7月30日(火)消防本部にて、セミナーが開催されました。猛暑の中ではありますが、大変多くの先生方に参加していただきました。

前半は、中消防署本署にある救急車やはしご車、レッドサラマンダーなどの車両や仮眠室などの施設を見学し、職員の方より詳しく解説していただきました。その後、指導員の山崎先生・森田先生による、消防署を教材化した模擬授業が行われました。見学を生かした授業作りや社会科の見方・考え方に着目した教材開発など、具体的なアドバイスをいただきました。今後の授業作りの参考となりました。

(六ツ美西部小 笠間 大樹)

【当日の施設見学の様子】



発見！一押し地域教材 (河合中 辻村堅吾 先生)

「地形図を使用した学区調査」(河合中学区)

★授業への活かし方★

○中学1年生 おかさき学習「岡崎市の地形と土地利用について調査しよう」(岡崎の地理)

★この教材のポイント★

①紙媒体の地形図に触れる機会を多く設定

地図記号や等高線の見方を学習した後、学区の地形図を見て、河合の地域像を考える活動に取り組んだ。ただ地形図を見るのではなく、「建造物」「交通」「地形」「土地利用」などの視点を捉えることで、地域像に迫った。そして、河合学区を岡崎市東部と見立て、東部以外の地域を5つの地域に分け、各地域の特色や土地利用について、各班で地形図上での調査を実施した。調査後は、整理したことを発表する時間を設定した。最後に、改めて自分たちの住んでいる地域を地形図で確認した。この単元で、岡崎市の地形図を3回調査する時間を確保できたことで、地形に対する理解の深まりが見られた。

②現地調査を行うことで、より確かな情報をつかむ

「地形図」から読み取ったことが正しいかを確認するために、フィールドワークを実施した。実際に見たり、聞いたりすることで、自分の考えや意見に自信をもち、より確かな学区の地域像を導き出すことができた。地形図を使用し、学区と他の地域を比較することで、新たな視点から河合地区を見つめ直し、郷土を大切に思う気持ちをもつことができた。



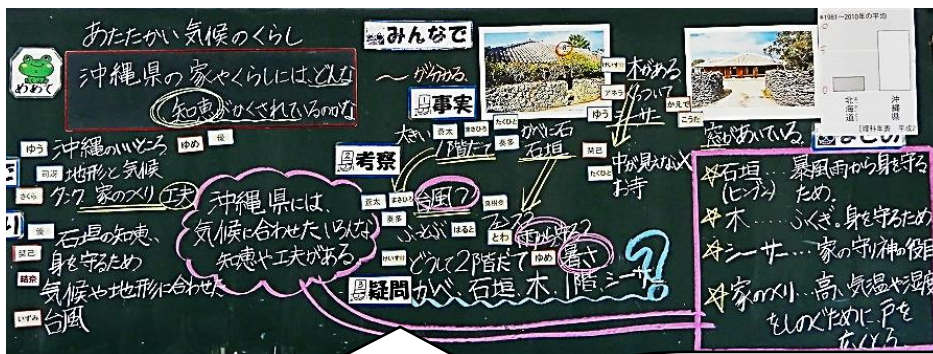
必見！授業技！ (本宿小 近藤佳奈 先生)

5年生社会科「あたたかい気候と人々の暮らし」は、国土の気候や地形などの自然条件と地域の特色との関連を、資料を基に考えることをねらいとしている。教科書には電照菊が扱われているが、沖縄県の今帰仁スイカを題材とし、授業を展開した。

根拠のある考えを構築することができる力を育む

本時の手立て

- ①子供の思考と学びを深めるため、思考の過程を可視化するように板書をする。
- ②主体性を育み、根拠のある考えを構築できるように、Skype等を活用し、子供の意識に沿った情報や資料の提示を行う。



手立て①

板書の構造を6段階と仮定し、重要な話し合い事項を真ん中の位置にし、まとめや振り返りを右側に配置した。

手立て②

Skypeを使って、沖縄県の今帰仁スイカ農家の方にリアルタイムで話を聞き、暖かさを生かした農業について確かめた。ISA-OKさんに協力してもらえるので、事前に打ち合わせをすれば誰でも簡単に授業に取り入れることができる。

自主研修セーリング報告

「子供が生き生きと学ぶ授業づくり」

第3回 ～教育論文の書き方～

内容：仮説や手立ての書き方を中心に、教育論文執筆のポイントを講師の倉田舞先生が解説しました。

次回のセーリングは、1月10日(金)です。テーマは「模擬授業に参加しよう(整理編)」です。単元や授業のまとめ方を学ぶことができます。ぜひご参加ください。

愛社研・県教研代表者

◆愛社研研修会提案者

常磐小(現矢作北中) 原田 庸平先生
額田中 酒井 孝康先生

◆第69次教育研究愛知県集會

【小学校】常磐小(現矢作北中) 原田 庸平先生

豊富小 中西 悠先生

【中学校】額田中 酒井 孝康先生

竜海中 新實 弘章先生

◆第69次教育研究全国集會

【中学校】額田中 酒井 孝康先生